

首都移転

を 考える

REIWA
11.5
YES

シンポジウム

日時 令和4年 11月5日(土) 13時30分～16時15分 [受付12時30分～]

会場 きびプラザ3階ホール (加賀郡吉備中央町 吉川4860-6) 定員 300名 参加無料

岡山の“おへそ”から、日本の“おへそ”へ。

今後30年以内に70%の確率でM7クラスの首都直下型地震が発生すると予測される中、前回のフォーラムでは全国的にも安全・安心な地域と証明された岡山県の吉備高尾地帯、その中央に位置する吉備中央町では、近年国内外からの起業家や移住希望者からも注目をされるようになりました。今回のシンポジウムでは、日本一地震が強い国である吉備中央町へ各分野から有識者を招き、その特性を生かした地方創生を探りつつ日本の首都をデザインしていきます。

第1部 講師 経歴フォーナリス 須田 慎一郎氏



講演 “地方創生 - 岡山が輝く日本へ”

1961年、東京都生まれ、日本大学経済学部卒、経済紙の記者を経て、フリージャーナリストに「夕刊フジ」(東京ポスト)「週刊東洋」などで執筆活動を開始。その後、テレビ番組など多方面で活躍。平成18年から24年まで、内閣府、国土強靭化対策本部 有識者会議委員を務め、政府、民間、財界での豊富な人脈を基に、数々の企画を推進している。

第2部 パネルディスカッション [ゲストパネリスト]



コバヤシ ケンジ
小浜 啓史
アズノブックス代表取締役
加賀市立中央図書館館長



コバヤシ ケンジ
佐藤 孝徳
岡山大学 准教授



コバヤシ ケンジ
坂田 敬久
岡山県立大学 学長
岡山県 議員



コバヤシ ケンジ
早林 謙
一般社団法人 岡山県
観光振興局 局長



コバヤシ ケンジ
山本 智剛
岡山県立大学 学長

主催：吉備中央町 / 財団法人 自治総合センター

後援：総務省 / 岡山県 / 特定非営利活動法人 地理年代学ネットワーク 協賛：一般社団法人 ワンダーシップ

Google Formsからお申込みいただけます！



